

## 製品安全データシート

### 1. 製品および会社情報

製品名	IC クリーナー
会社名	都インキ 株式会社
住所	大阪市鶴見区放出東1-7-13
担当部門	技術課
電話番号	06-6961-0101
FAX番号	06-6961-0303
緊急連絡先	06-6961-0101
用途および使用上の制限印刷	印刷インキ用洗浄剤
整理番号	Z-55-03

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分3
健康有害性	急性毒性(経口)	区分5
	急性毒性(経皮)	区分5

(注) 物理化学的危険性、健康に対する有害性、環境に対する有害性に関し、上記以外の項目は、現時点で「分類対象外」「分類できない」又は「区分外」である。

#### GHSラベル要素 絵表示



#### 注意喚起語 危険有害性情報

警告  
引火性液体および蒸気  
飲み込むと有害のおそれ  
皮膚に接触すると有害のおそれ

#### 注意書き

安全対策	熱、火花、裸火、高温のもの、静電気のような着火源から遠ざけること。ー禁煙。 防爆型の電気機器、換気装置、照明機器、火花の出ない工具を使用すること。 静電気放電に対する予防措置を講じること。 個人用の保護具を着用、または換気の良い区域でのみ使用すること。 ミスト、蒸気等を吸入しないよう、局所排気装置等を設けること。 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
応急措置	取扱い後は手洗い、うがいを十分おこなうこと。 火災の場合: 炭酸ガス、泡、または粉末消化器を用いて消火すること。 飲み込んだ場合: 口をすすぎ、すぐに医師の診察を受けること。 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
保管 廃棄	容器を密閉し、日光から遮断し、涼しく換気の良い場所で施錠して保管すること。 内容物や容器を都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託すること。

### 3. 組成および成分情報

化学物質・混合物の区別: 混合物

成分及び含有量:

化学名	含有量(%)	化学式	官報公示No	CAS No
炭化水素系溶剤	約20%	特定できない	9-1689	64742-47-8

その他の少量成分: 乳化剤 スクラブ成分

PRTR法: 非該当

## 4. 応急措置

- 吸入した場合： 直ちに患者を毛布等にくるんで安静にさせ、新鮮な空気のある場所に移す。呼吸が困難な場合又は呼吸が停止している場合には、直ちに人工呼吸を行い、医師の手当を受ける。
- 皮膚に付着した場合： 直ちに汚染された衣服や靴等を脱がせ、付着部又は接触部を石鹼水で洗浄し、多量の水を用いて洗い流す。もし皮膚に炎症やかゆみを生じた時は、医師の手当を受ける。
- 目に入った場合： 直ちに多量の水で15分以上洗い流し、眼科医の手当を受ける。
- 飲み込んだ場合： 水で良く口の中を洗浄させる。吐き出させると気管に入っかえって危険が増す。安静にし、直ちに医師の手当を受ける。

## 5. 火災時の措置

- 消火剤： 粉末、泡、二酸化炭素、乾燥砂
- 消火方法： 周辺火災の場合は、速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合には、容器及び周辺に散水して冷却する。  
火災発生場所周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。
- 消火を行う者の保護： 消火作業の際には必ず保護具を着用し、風下で作業をしない。

## 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置：  
風下の人を退避させる。漏洩した場所の周辺には、ロープを張るなどして人の立ち入りを禁止する。  
付近の着火源となるものを速やかに取り除く。  
作業の際には必ず保護具を着用し、風下で作業をしない。屋内の場合には、処理が終わるまで十分に換気を行う。
- 環境に対する注意事項： 濃厚な洗浄廃液が河川に排出しないよう注意する。
- 除去方法： 危険なくできるときは漏洩をとめる。  
乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて密閉できる容器に回収する。

## 7. 取り扱いおよび保管上の注意

- 取り扱い：  
技術的対策： 着衣、皮膚、粘膜に触れたり、眼に入らないように適切な保護具を着用する。  
機器、設備には、静電対策を行う。
- 注意事項： 局所排気装置を使用するか、換気のよい場所で行う。
- 安全取扱い注意事項： 周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。  
容器はみだりに転倒させ、衝撃を加え、または加熱する等の乱暴な取り扱いをしない。容器から出し入れする時は、こぼれないようにする。
- 保管：  
適切な保管条件： 火気厳禁、直射日光を避け、冷暗所に保管する。  
風通しをよくし、蒸気が滞留しないようにする。

## 8. 暴露防止および保護措置

- 設備対策： 局所排気装置を設置する。
- 管理濃度： 設定されていない
- 許容濃度：

化学物質の名称	ACGIH	日本産業衛生学会
炭化水素系溶剤	設定されていない	設定されていない

- 保護具： 有機ガス用防毒マスク、保護眼鏡、耐油性保護手袋、保護衣等を使用する。

## 9. 物理的および化学的性質

- 物理的状態、形状、色など： 乳白色液体
- 臭い： 僅かな炭化水素臭
- pH： データなし
- 融点・凝固点： データなし
- 沸点・初留点： 160℃以上
- 沸騰範囲： 160～180℃
- 引火点： 約41℃

自然発火温度：	データ無し
燃焼または爆発範囲：	データ無し
蒸気密度：	データ無し
比重：	約1.0(20℃)
溶解性：	水に加えると分散する。
オクタノール／水分配係数：	データ無し
分解温度：	データ無し

## 成分の物理的及び化学的性質

成分の名称	沸点(℃)	比重	水への溶解度	蒸気密度	引火点(℃)	発火点(℃)	爆発限界 vol% (空气中)	logPow (オクタノール/水分配係数)
炭化水素系溶剤	157~179	0.76	不溶	5	41	235	データなし	データなし

## 10. 安定性および反応性

安定性：	通常の取り扱い条件においては安定である。
反応性：	強酸化剤との接触を避ける。
危険有害な分解生成物：	CO

## 11. 有害性情報

製品としての有害性情報：なし

## 成分の有害性情報(GHS分類結果)

項目	急性毒性 (経口)	急性毒性 (経皮)	急性毒性 (吸入:気体)	急性毒性 (吸入:蒸気)	急性毒性 (吸入:粉塵) (吸入:ミスト)	皮膚腐食性 皮膚刺激性	目に対する 重篤な損傷 眼刺激性
炭化水素系溶剤	区分5	区分5	分類対象外	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない

項目	呼吸器感作性 皮膚感作性	生殖細胞 変異原性	発がん性	生殖毒性	特定標的臓器 ・全身毒性 (単回暴露)	特定標的臓器 ・全身毒性 (反復暴露)	吸引性呼吸 器有害性
炭化水素系溶剤	データなし 区分外	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない

## 12. 環境影響情報

製品としての環境影響情報：なし

## 成分の環境影響情報

項目	水生環境有害性(急性)	水生環境有害性(慢性)
炭化水素系溶剤	データなし	データなし

## 13. 廃棄上の注意

ドラム缶等に入れ、横転しても内容物が外部に流出しないように密栓する。  
 焼却する場合は、産業廃棄物処理基準に従って焼却する。  
 外部委託の場合は、廃油(可燃性)であることを明記し、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。

## 14. 輸送上の注意

## 注意事項

容器の漏れのないことを確かめ、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。  
 指定数量以上を車両で運搬する場合は、「危」の表示を車両前後に表示し、消火設備を備える。  
 容器を積み重ねる場合には、高さ3m以下とする。  
 第1類、第6類の危険物とは混載できない。  
 消防法の危険等級Ⅲに準ずる運搬容器に収納して運搬する。

国連分類：クラス3 (引火性液体)  
 国連番号：1210 指針番号：129

15. 適用法令

安衛法:	危険物:	引火性の物
	表示物質:	非該当
	有機則:	非該当
	通知対象物:	非該当
PRTR法:		非該当
消防法:		指定可燃物(可燃性液体類)
航空法:		引火性液体
港則法:		引火性液体類

16. その他

記載内容の変更等

この「安全データシート」は安全保証ではありません。

取り扱う場合は記載内容を参考にして、使用者の責任において実際に即した適切な処置を講じて下さい。

記載内容は、法令の改正及び新しい知見に基づき予告なしに改訂される事があります。